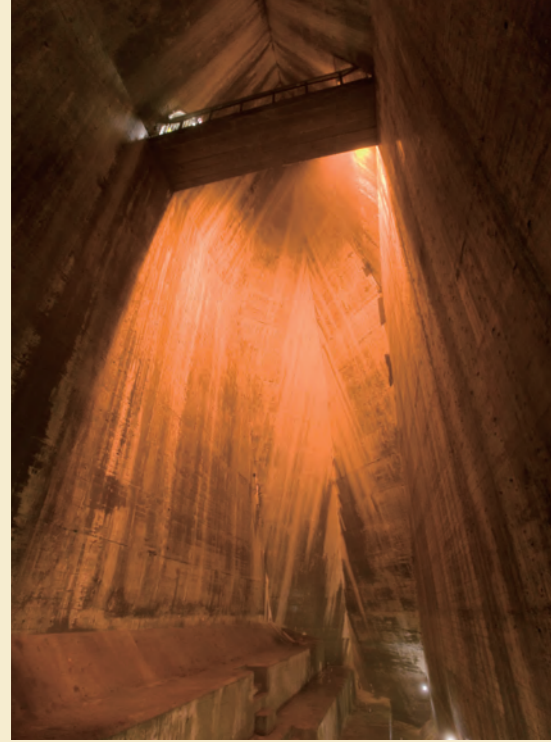


# 全国でもめずらしい 中空構造をもつ横山ダム。



ダム内空洞部

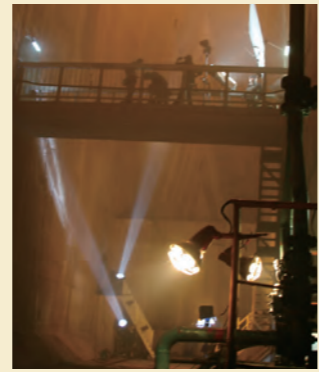
横山ダムは、ダム内部に空洞を持つ全国でもめずらしい中空重力式コンクリートダムです。内部に空洞を造ることで、コンクリートなどの材料を節約することができるため、昭和中期には全国で造られました。日本では13のダムがこのタイプです。おもに発電用ダムが多く、中部地方では大井川の井川ダムなどがあります。



①ファンタジーホール  
ダム空洞部分をダムの紹介スペースとして利用しています。

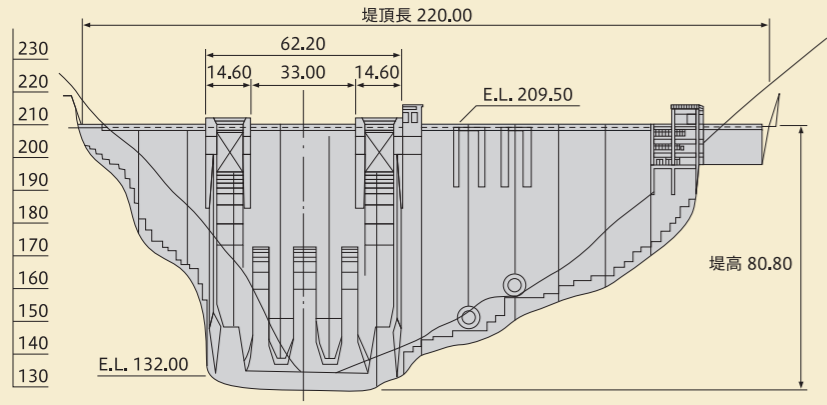


②監査廊  
堤体内を観察するためにダム堤体内につくられた通路。通廊とも呼ばれます。

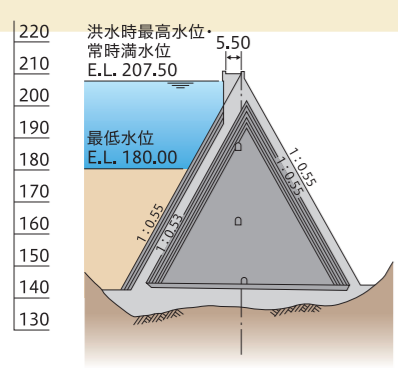


空洞のダム内部は映画撮影にも使われました  
横山ダム空洞部が地下秘密工場の雰囲気合うということで、ダム内部で映画のロケが行われました。

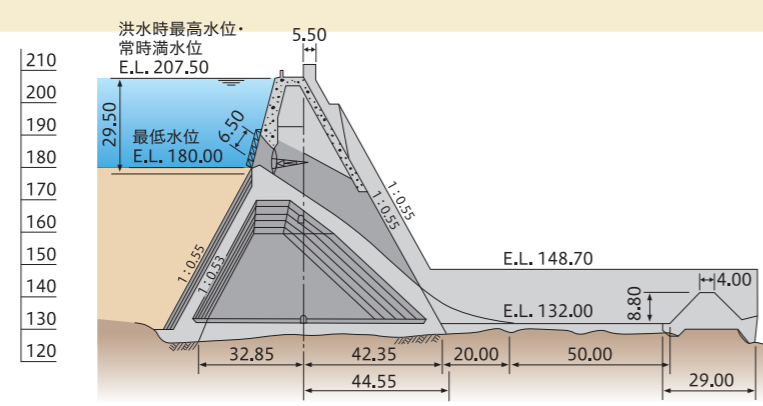
## ■ダム下流面図



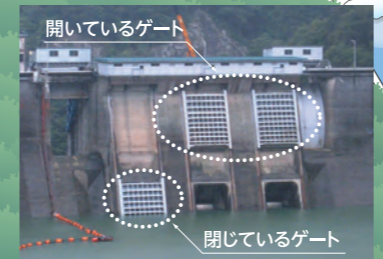
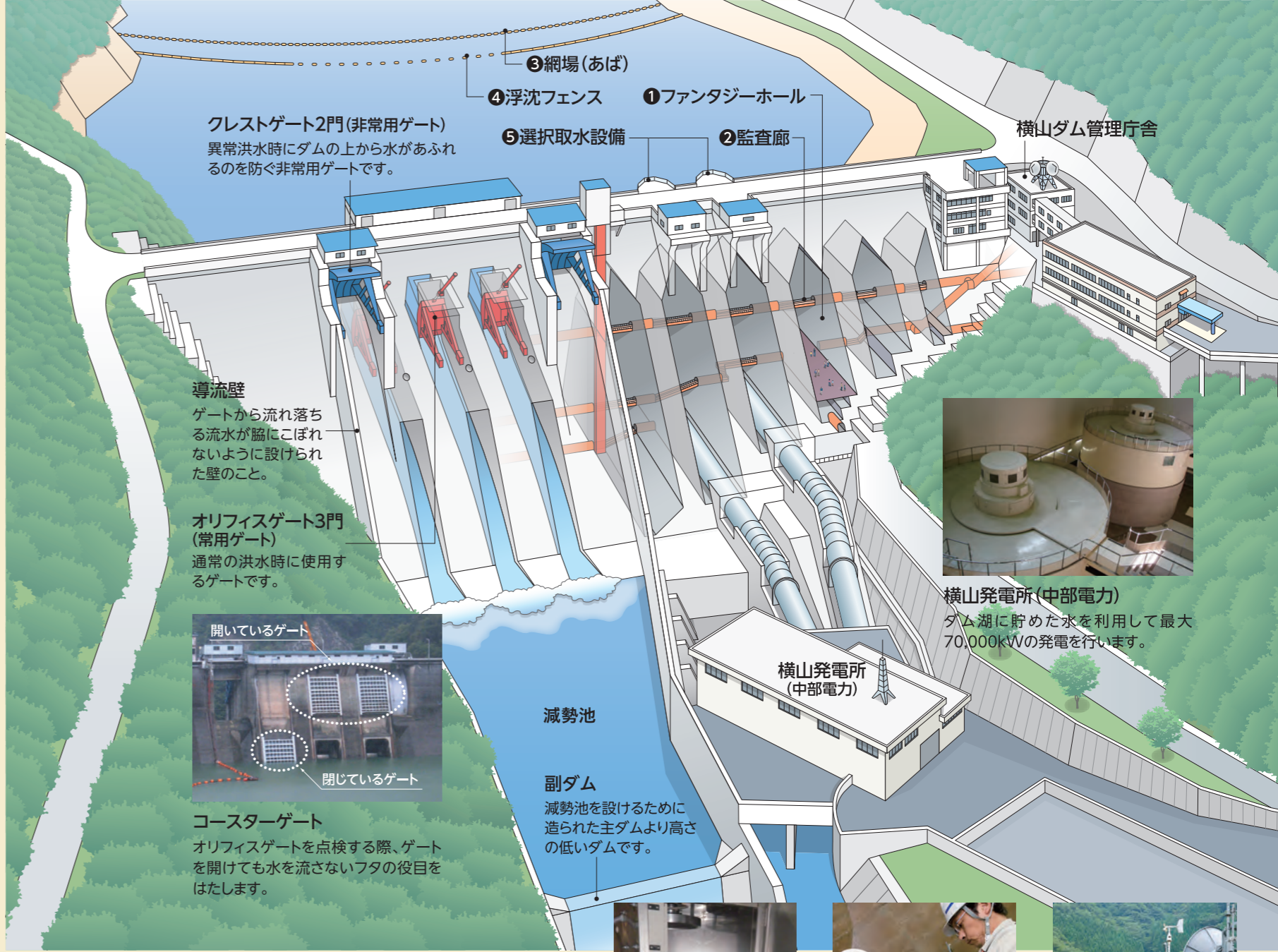
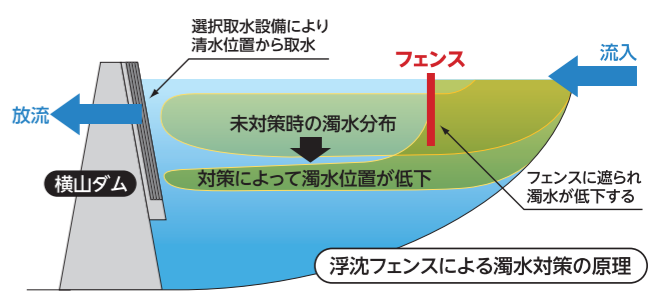
## ■一般部断面図



## ■放流設備がある部分の断面図



③網場(あば) ダム湖内に入り込んできた流木やゴミなどをせき止め、ゲートなどのダム施設を守ります。  
④浮沈フェンス 貯水池の濁りや水温に応じて操作します。選択取水設備と組み合わせることで、下流に流す水の濁りを軽減します。



開いているゲート (Opening gate)  
閉じているゲート (Closing gate)  
コースターゲート  
オリフィスゲートを点検する際、ゲートを開けても水を流さないフタの役目は果たします。



⑤選択取水設備  
ダム湖の水は、水深で水温や水の濁りが異なります。取入口が上下する選択取水設備であれば、適切な水深から水を取り入れ、下流に流すことができます。



プラムライン  
ダムの変形、変位をプラムライン(懸垂線)を応用して測定する装置です。



漏水計  
ダム堤体内に設置した漏水計で、ダム堤体の漏水や湧水を測定しています。



総合気象観測装置  
風量計、雨量計、日照計を設置して、ダム管理に必要な気象情報を観測しています。